

協力隊を育てる会 エース

ひとりの若者の海外ボランティア活動によって、国際協力の輪が限りなく広がることを理解し、その活動を支援するために『協力隊を育てる会』は歩みつづけたい

- ◆題 字：茅 誠司
- ◆発行所：一般社団法人 協力隊を育てる会
- ◆発行人：明石要一 ◆編集人：大石精一
- ◆毎月1日発行 定価1部110円（本体100円）



2025
10
第493号



一般社団法人
協力隊を育てる会



〒101-0052
東京都千代田区神田小川町3-28-7 昇龍館ビル2階
TEL:03-5244-5093 FAX:03-5244-5095
E-mail: news@sojocv.or.jp

JICA海外協力隊

2025.7.31現在

地域	派遣中人数	累計	地域	派遣中人数	累計
大洋州	187	4,990	東南アジア	266	8,547
北米・中南米	517	15,403	東アジア	34	1,633
中東	85	3,787	中央アジア	74	752
アフリカ	507	16,554	南アジア	83	5,463
欧州	11	728	合計	1,764	57,857

テーマは「**A new step!**」 — 2026年版カレンダー —

2026年版の協力隊を育てる会カレンダーが完成、「グローバルフェスタJAPAN2025」にあわせて、9月27日(土)より販売を開始しました。

来年のテーマは「A new step!」。

協力隊参加を決めた時。派遣国に降り立った時。そして、困難を乗り越え現地の人々と心が通い合った時。様々な思いが詰まった新しい第一歩を感じさせる写真が満載です。

還暦を迎えた青年海外協力隊。新たな一歩

を踏み出したこの事業により多くの方がご参加いただけるよう、カレンダーを通じた働きかけをして参りますので、皆様もぜひ応援してください。詳細は3面広告をご参照、または下記にご連絡ください。

お問合せ

TEL : 03-5244-5093

FAX : 03-5244-5095

E-mail : calendar@sojocv.or.jp



表紙は白波瀬友香さん（モザンビーク）の1枚。治安悪化による一時帰国と再赴任を経て同僚と再会、年に一度のお祭りでは初めて農作物を販売。新たな活動の第一歩となりました。

国際協力時評

地域から生まれる国際協力の新しい形



わた なべ ひろ み
渡邊博美

福島県青年海外協力隊を支援する会
会長

福島県商工会議所連合会 会長

福島商工会議所 会頭

〈略歴〉

1946年生まれ。福島大学経済学部卒。福島ヤクルト販売会長。
福島商工会議所副会頭を経て、2013年11月、同会頭に就任。

今年6月より、会長を仰せつかりました渡邊博美と申します。

皆さまの温かい御支援に支えられ、微力ながら会務を務めさせていただいておりますことに、まず心より御礼申し上げます。

わが福島県には二本松市に二本松青年海外協力隊訓練所が設けられており、今年は30周年の節目を迎えております。

2025年度1次隊修了式に出席し、これから巣立つ127名の隊員の皆さまへ励ましの言葉を差し上げる機会をいただきました。お話するなか私の古くからの友人が協力隊員としてマレーシアの地で活躍していたことを思い起こしました。彼のおかげで、私にとって協力隊の活動は今も身近で、大切なものとして心に刻まれております。

複雑さを増す国際情勢の中で、果敢に異文化に溶け込み、共に発展を支えていく協力隊の姿に対する尊敬と感謝の念は、今も昔も変わることはありません。

当「福島県青年海外協力隊を支援する会」は、協力隊の活動を民間の立場から支えることを目的に平成6年に設立されました。個人の方々ほか、地元企業、団体の皆さまに会員として御加入いただき、派遣中の隊員から寄せられる支援依頼への対応や、活動報告会・講演会の開催、広報活動など、地域に根差した事業を展開しております。二本松訓練所の式典や催事に協力

する機会も多く、訓練生の真摯な姿に触れるたびに、地域からの応援がどれほど大きな励みとなるかを改めて実感いたします。

昨年度より、新たに派遣される隊員と帰国隊員による「県知事表敬」に当会からも同席しております。これに合わせ、同日には昼食を囲む懇談会を主催し、帰国隊員と派遣前隊員が互いの経験や抱負を語り合う場としております。

こうした取り組みを続けてこられたのは、ひとえに会員の皆さま、そして地域の企業・団体の皆さまの御理解と御協力のおかげにほかなりません。ここに改めて厚く御礼申し上げます。

今年の11月13日には、JICA海外協力隊事業発足60周年の記念式典が催されることになっています。多くの派遣国から高い評価を受ける事業として、益々JICA海外協力隊の活動に対する期待は大きくなっていくものと思います。

今後は、国際社会の課題が一層複雑化するなか、次世代を担う若者にも協力隊の魅力を伝え、地域から生まれる国際協力の新しい形を模索してまいりたいと考えております。

どうかこれからも、当会の活動に変わらぬ御理解と温かい御支援を賜りますようお願い申し上げます。

学生募集

連合国際協力研究科
Graduate School of International Development and Cooperation

通信制

国際協力専攻 修士課程
International Human Development and Cooperation Course

通信制で国際協力の 修士号を取得

時間的、物理的制約の多い社会人のために「通信制」により、個別指導とスクーリングできめ細かく修士号取得をサポートします。

必修科目のスクーリングは、ハイフレックス型授業（対面またはオンラインを選択可能）で行うため、海外等遠方にお住まいの方も受講可能です。

本研究科は、これまで看護、社会福祉、環境、社会開発、リハビリ、教育など様々な専門分野をもつ社会人が入学しています。

開講科目は、必修科目として国際協力の現状と課題について理解を深めることを目的とした「国際協力総論」（1年次）、個々の研究テーマについて、対面指導・ディスカッション・研究発表を行う「特別研究」の他、選択科目として感染症・保健・人口・環境・文化人類・開発経済・開発教育などの13科目を開講し、学生の専門性を深化させながら、国際協力の知識や技術、調査・研究の方法など幅広い分野の学修が可能です。

入学金免除について

JICA青年海外協力隊（JOCV）等の派遣事業に参加し、2年以上の国際協力経験者の方は、入学金の免除制度があります。
※出願時に証明書の提出が必要

入学相談会のご案内

開催日	平日相談会を随時開催 ※大学休業日を除く
開催時間	10:00～16:40
会場	岡山会場・オンライン会場

ご質問やご相談などもお気軽に WEB 入学相談からお問い合わせください。



輝け、自分。羽ばたけ、未来へ。

吉備国際大学 大学院（通信制）

通信教育事務課

〒716-8508 岡山県高梁市伊賀町8
TEL 0866-22-9191
E-mail : tsushin@kiui.ac.jp

（スマートフォンサイト）



研究科 WEB 入学相談

出願前に研究指導を希望する教員、研究テーマについてご相談をいたします。

（WEB 入学相談）



枋木

報告を受け、半田さんの活動に刺激を受けたネパール支援の活動事例として、長野県駒ヶ根市の加治木今さんがオンラインで報告した。また栃木県那須塩原市の元協力隊員、大谷崇さんは、在住ネパール人や地域住民を巻き込んだ活動を報告した。

ネパールでの活動を報告する半田好男さん(右端)＝8月30日、宇都宮市のとちぎ国際交流センターで

第1部 基調講演

<https://youtu.be/9MhjA9-6zol>



第2部 事例紹介と質疑

<https://youtu.be/m8o2XNZCPIU>



石川

[illegible]

◆日時：2025年11月8日(土)
13:15～15:15

◆場所：石川県女性センター ホール

◆内容：・記念式典
・協力隊経験者によるトークセッション
・金沢二水高校合唱部による記念ステージ
・能登産品等があたる抽選会(復興祈念)等

◆お問合せ：076-225-7002
石川県青年海外協力隊を
支援する会事務局
((公財) 石川県国際交流協会内)



千葉

現在は千葉市中央地区の保護司としても活動されています。

愛知

A decorative horizontal line consisting of a series of small, dark, diamond-shaped elements.

◆内容：【第1部】基調講演
「還暦を迎えた青年海外協力隊」
～帰国隊員の調査から見た隊員の特性
(一社) 協力隊を育てる会会長 明石要一
【第2部】パネルディスカッション
「これからの途上国とのお付き合い」
～隊員が途上国で築いた信頼関係をどのように
活かすか～

◆お申込み：fujita0505@etude.ocn.ne.jp
TEL：080-5117-0564
愛知県青年海外協力隊を支援する会
事務局 藤田

埼玉

◆日時：2025年12月6日(土) 16:45～
◆場所：浦和伊勢丹7階(クローバールーム)
◆内容：立食パーティー形式で2025年度2次隊の
派遣壮行会を兼ねて実施予定
◆お問合せ：keyanoki@gmail.com
埼玉国際青年を育てる会
事務局長 榎本

まつ お とも こ
松尾 友子さん (コスタリカ／2017年度1次隊／体育)

二つ目は、コスタリカ農村部の高齢者を対象に実施したサルコペニア（老化に伴う筋機能の低下現象）テストのデータを、客観的なエビデンスとして社会に発信したいと考えたことです。雑誌論文という形で成果を発表す

現在は私立大学の専任職員として勤務して

おり、今後の展望としては三つの挑戦があります。第一に産官学連携によるカーボンニュートラルの推進、第二に外国人留学生・教員の受け入れや日本人学生の海外派遣、国際交流イベントの推進、第三に自らの経験を活かしたリカレント教育の推進と学生支援です。大学院で培った「理論と実践を往復しながら学び続ける姿勢」を大切に、社会と大学をつなぐ役割を果たせるよう努力していきたいです。



コスタリカ共和国保健省コトブルス支局の皆さんと

日本も元気にする青年海外協力隊OB会—(82)— 協力隊経験を活かした 外国人支援をしませんか？

東京都
板橋区しがき しんや
紫垣 伸也さんしがき行政書士事務所 行政書士
セネガル／平成15年度3次隊／村落開発普及員

兵庫県尼崎市出身、東京都板橋区在住。関西学院大学総合政策学部卒業後、先住民族支援のNGOインターン生としてフィリピン・ミンドロ島に赴任⇒JOCVでセネガルへ⇒フィリピン残留日本人支援のNGOに勤務⇒東京都内で訪問介護の仕事や民生委員・児童委員の活動しながら行政書士事務所を開業。行政書士としての専門は、高齢者・障がい者と外国人支援。

毎日が人と関わる日々だったセネガルから帰国し、日本でも人と関わり人の役に立っていることが実感できるような仕事に就きたい、と思ってたどり着いたのが、障がい者と高齢者の日常生活支援を行う訪問介護であり、行政書士という職業でした。

行政書士とは、簡単にいうと“街の法律家”。市民の様々な困りごとの相談に乗り、場合によっては報酬をいただいて困りごとを解決に導くお手伝いをする職業です。私は、行政書士のなかでも入管業務に深く携わることができる申請取次という資格も取得しました。

ただ、在留外国人が抱える困りごとというの

は入管業務に関するものだけではありません。例えば、言語・文化・宗教や、病気になったとき、職場環境、ご近所付き合い、人間関係、交通ルール、学校生活、ゴミの分別、などの母国との違いが“困った”の原因を生み出します。

そこでこれらの“困った”を支援する、元協力隊による在留外国人支援ネットワークができないだろうか、と思いつきました。支援といっても無理なくできる範囲で、元協力隊同士が意見や情報交換をして学び合いながらよりよい支援を模索していく、そんなゆるやかなネットワークのようなものを。



任地（セネガルの漁村）でのニーズ調査の様子



“行政書士との懇談会 外国人との共生 in Itabashi”開催（2024年5月25日（土）より）

出入国在留管理庁によると、2024年末時点の在留外国人は376万8977人となり、3年連続で過去最多を更新したようです。この数字だけでも、日本国内における国際化は前進の一途をたどり、共生社会の促進は必然といえます。そんななか、全国各地にいるパイオニアスピリッツあふれる(?)元協力隊で、元協力隊という親和性(?)も活かして在留外国人支援という目的で繋がり、魅力的で面白そうなネットワークを作ってみませんか。できれば現役協力隊さんとも一緒に！

ご関心有りましたら、shigakishinya@gmail.comまでご連絡ください。

日本も元気にする青年海外協力隊OB会

日本でも貢献したい協力隊OBOG有志で2015年に結成。協力隊の経験やネットワークを活かし、互いの情報交換を行いながら地域づくり等の社会貢献活動に取り組んでいる。

今回はスペイン語通訳相談員 社会福祉士の村松紀子さんを紹介予定です。

32年ぶりの恩返し— サッカーボールが紡ぐ 西ミンダナオ平和プロジェクト

北村也寸志さん（フィリピン／平成元年度1次隊／理科教師）は、1989年に西ミンダナオ大学に赴任、理科教師として活動する傍らサッカーの指導にも情熱を注ぎました。

32年ぶりに現地を再訪した北村さんは、かつての友人が「サッカーで地域を平和にする」との信念のもと、活動を続けていることを知ります。西ミンダナオ地域は、ムスリムとクリスチャンとの間で紛争が長く続いたため、友人はサッカーを通じて次世代を担う子どもたちが宗教の違いを乗り越えて平和な社会を築くよう奮闘中でした。

今こそ恩返しをすべき時と、北村さんはサッカーができる環境を整え、日本から指導者を派遣すべく、クラウドファンディングを企画、奮闘中です。



32年ぶりの恩返し
サッカーボールが紡ぐ
西ミンダナオ平和プロジェクト！
CAMPFIRE（キャンプファイヤー）



目標金額：3,000,000円
募集期間：11月3日まで

日本も元気にする青年海外協力隊OB会 リレー寄稿スピンオフ企画

記事の裏側お話しします

リレー寄稿の執筆者が記事には書ききれなかった想いや裏側についてお話しするオンライントークイベントを開催します。今回は行政書士として外国人支援に携わる紫垣伸也さんにお話しを伺います。

- ゲスト：紫垣伸也さん（上記記事）
- 日時：2025年10月23日（木）
19:30～21:00
- 会場：オンライン（Zoom） ●参加無料
- 申込：以下のURLよりお申込みください。

<https://forms.gle/ZMnvpkprnBMyeq8u8>

🐦 ありがとうございます 🐦
(8月16日～9月15日)

【ご入会】
井上 修二 様

野田発 世界との架け橋になる

—映画とリアルな声が開く、世界の扉—

10月25日（土）開場13:00／開演13:30

野田市中央公民館

入場無料

第1部
13:30～
15:15

映画「クロスロード」鑑賞
きれいごとではなくリアルな
JICA海外協力隊を描いたドラマ

第2部
15:30～
16:15

JICA海外協力隊トークイベント
野田市出身、現・元JICA海外協力隊3人
の活動紹介

司会進行：成瀬猛
元JICAパレスチナ
事務所所長山崎るうな
ウガンダ
食用作物・稲作栽培常盤亜矢子
ザンビア
理数科教師横田美紗子
パラオ
数学教育

申込み

10月23日（木）までに中央公民館へ
直接か、電話（04-7124-1558）、
またはホームページ（電子申請サービス）で

申込用
電子申請
サービスは
こちら



主催：野田市教育委員会 市制施行75周年記念事業・市民提案による公民館事業